2023年度　かんだ連雀　事業計画

重点項目（3ヵ年計画 2022～2024年度）

１．　倫理綱領を踏まえて、その方らしい生活の実現を中心に据えた支援を行う

２．　地域における高齢者・家族支援の拠点として、財務指標に沿った収支バランスのとれた健全な経営を実現する

３．　BCM（事業継続マネジメント）を確立するとともに、建物設備についても長期的な維持管理・資金計画を再構築する。

１．　その方らしい生活の実現を中心に据えた支援

（１）職業倫理を念頭に置き、 ICFに基づいた入居者・利用者アセスメントを行うことによって、より専門的見地に立った援助ができるようになる。
（２）リスク管理を学び、事故防止に努め、不適切ケアをゼロにする職場環境を整える。
（３）現状に沿ったBCPを発展させBCMを確立する

２．　財務の健全化

（１）稼働率を向上させ、取得すべき加算を取る体制を確立する
（２）採用コストを抑制し、人件費率の適正化を達成する。
（３）在宅サービス事業を拡充させ、地域ニーズを満たすだけの供給量に達する

３．　職員の適正配置と労働生産性の向上

（１） 正職員の定着と、非常勤職員の適宜採用スキームを組み合わせて、柔軟性のある体制をめざす。
（２） 職務要件に沿った、的確な指導を行う
（３） ICT活用によりサービスの質を向上させ、業務の平準化を行う

４．　地域とのつながり

（１）地域包括ケアの中で、施設機能を活かす取り組みを増やしていく
（２）災害時対応について、地域と施設の連携による住民支援が行える体制を作る
（３）生活支援体制整備事業との連動を目指し、すみれ会の取り組み等、地域連携の機会を広げる。

５．　建物設備保守

（１）資金計画に基づいた、実現可能な長期修繕計画を策定する
（２）滞ってきた建物設備の補修を、優先度に沿って順次進めていく
（３）整備保守の委託事業者を見直すことにより、建物の現状を適切に評価し、施設の事情に応じた保守管理を行っていく